

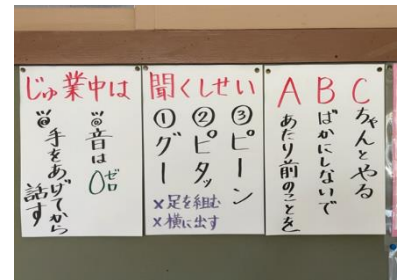
規律 と 主体性

新年度が始まり、3週間が過ぎます。慣れないことに戸惑いながらも、一人一人が少しずつ安心した表情で学校生活を送る姿が見られます。保護者の皆様が、ご家庭で温かく見守り、学校へ送り出してくださっているおかげです。ありがとうございます。

さて、今回は、「規律」と「主体性」という二つの言葉を軸に、日々の教育活動を振り返ってみます。

決まりを守ることは、自分自身を守ることや友達と仲良く過ごすことにつながります。そして、自分から進んで行動する主体性は、未来を切り拓く力となります。

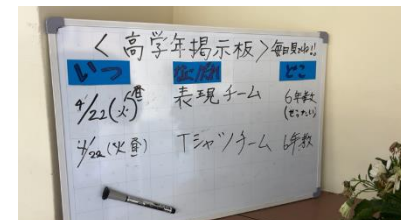
教室では、授業中のルールや聞く姿勢について、合言葉やオノマトペで子供たち自身が理解し、意識して過ごせるよう工夫しています。また、「音はゼロ」「手をあげてから話す」「足を組まない」といった約束は、集団の中で心地よく学ぶための土台となるマナーでしょう。



朝の時間にはその日の予定（ホワイトボード）を確認し、自分の行動を見通す力を育てています。これは単なる準備ではなく、自ら考えて動く第一歩です。



教室で見られる「自分でやってみよう」という姿に、私たち教員も子供たちが自分から行動する姿を見守っています。同時に、子供たちからたくさんの学びをもらっています。



高学年学習だけでなく、学校全体を支える存在としての役割も担っています。1年生のお世話や下学年への言葉掛け、行事の準備やチームのリーダーとしての活動など、自分のことだけでなく「誰かのために動く」場面が増えています。

そうした姿には、主体性の芽が、責任感という花を咲かせはじめているような確かな成長を感じます。「やらされる」から「自分で考えて動く」へ。高学年ならではの大きな一歩を、日々の中で積み重ねています。

ご家庭でも、お子さまの小さな挑戦に耳を傾け、温かい励ましをお願いできればと思います。学校での学びと家庭での支えが相まって、子供たちの成長はより豊かなものとなります。これからも、学校と家庭が手を取り合い、子供たちの心の成長を支えていけたら嬉しく思います。4月26日（土）は、学校公開です。ぜひ、子供たちの規律や主体性の視点からもご覧いただければと思います。皆様のご来校をお待ちしています。

「規律」を羅針盤とし、「主体性」の帆に風を受けた「島の宝」は、希望の星を道標に広大な海原を未来の地平線へと航海して行くことでしょう。その雄大な旅路を、共に見守り支えてまいりましょう。